

イナベアザミ	<i>Cirsium magofukui</i> Kitam.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		キク科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	茎は高さ1-1.5m。根出葉は開花時には枯れてなくなる。頭花は點頭し、直径3-4cm、総苞は長さ約2.5cm、紫色。総苞片は3.5-4mm、縁に小さな刺があり、長く反り返り、粘着しない。筒状花は長さ約20mm。	
生態的特徴	冷温帯の石灰岩地によく生える。花期は9-10月。	
分布状況	中部地方東部と近畿地方西部に分布する。岐阜県では美濃地方の中部に見られる。	
減少要因	森林伐採などによる生育環境の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:高橋弘